

養老町定期予防接種スケジュール表



★スケジュールを確認しましょう♪

予防接種は医療機関で通年実施します。接種希望日3日前までに医療機関に予約してください。

予防接種の種類		接種回数	接種間隔	接種可能時期	0 か月	1 か月	2 か月	3 か月	4 か月	5 か月	6 か月	7 か月	8 か月	9 か月	10 か月	11 か月	1 歳 6 か月	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳		
生	ロタウイルス 感染症	ロタリックス	2回	27日以上	出生6週0日後 ～24週0日後まで																													
		ロタテック	3回	27日以上		出生6週0日後 ～32週0日後まで			①	②	③																							
<p>ロタウイルス感染症予防接種は2種類のワクチンがあり、どちらか1種類を選択して接種します。2種類とも、予防効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なります。</p>																																		
不活化	ヒブ(Hib)	初回	3回	27日以上 (標準的には56日まで)	生後2か月 ～60か月(5歳)未満																													
		追加	1回	初回接種後7か月以上 (標準的には13か月まで)					①	②	③																							
<p>ヒブ(Hib)・小児肺炎球菌は、初回接種開始時期によって接種回数・間隔が異なります。(次頁参照)</p>																																		
不活化	小児肺炎球菌	初回	3回	27日以上	生後2か月 ～60か月(5歳)未満																													
		追加	1回	初回接種後60日以上、 生後12か月以降					①	②	③																							
不活化	B型肝炎	初回	2回	27日以上において2回目を接種し、 1回目から139日以上において 追加(3回目)を接種	生後2か月 ～12か月(1歳)未満																													
		追加	1回						①	②	③																							
<p>標準的には生後2～9か月で接種</p>																																		
不活化	四種混合 (ジフテリア・百日せき ・破傷風・不活化ポリオ)	初回	3回	20日以上 (標準的には56日まで)	生後2か月 ～90か月(7歳半) 未満																													
		追加	1回	初回接種後6か月以上 (標準的には12～18か月後)					①	②	③																							
生	BCG		1回		12か月(1歳)未満																													
										①																								
<p>標準的には生後5～8か月で接種</p>																																		
生	麻しん風しん (MR)	第1期	1回		生後12か月 ～24か月(2歳)未満																													
		第2期	1回																															
<p>1歳を過ぎたら早めに接種しましょう</p>																																		
生	水痘		2回	3か月以上 (標準的には6～12か月)	生後12か月 ～36か月(3歳)未満																													
<p>標準的には生後5～8か月で接種</p>																																		
不活化	日本脳炎	第1期初回	2回	6日以上 (標準的には28日まで)	3歳 ～生後90か月 (7歳半)未満																													
		第1期追加	1回	第1期初回接種後6か月以上 (標準的にはおおそ1年)																														
		第2期	1回																															
<p>日本脳炎は、接種を見合わせていた時期があったため、H15年4月2日～H19年4月1日生まれの方は20歳未満まで特例措置として接種が可能です。</p>																																		
不活化	二種混合 (ジフテリア・破傷風)		1回		11歳～13歳未満																													
<p>小学6年生に郵送</p>																																		
不活化	ヒトパピローマ ウイルス感染症	サーバリックス	3回		12歳となる日の属する 年度の初日から16歳と なる日の属する年度の 末日までの間に女子																													
		ガーダシル	3回																															
		シルガード9	2回か3回																															
<p>詳しい接種方法については次頁参照</p>																																		
<p>標準的には13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間に接種</p>																																		
<p>積極的勧奨をしていなかった時期があったため、H9年4月2日～H19年4月1日生まれの女性はキャッチアップ対象者として、R7年3月31日まで接種可能です。</p>																																		

不活化…不活化ワクチン 注射 …スタンプ式

生…生ワクチン …経口

①②などの数字は、ワクチンの種類毎に何回目の接種かを示しています。

他の予防
接種との
接種間隔

生 接種後一次の異なる注射生ワクチンを接種するまでの間隔は、27日以上おくこと。

次の不活化ワクチンや経口生ワクチンを接種するまでの間隔は、制限なし。

不活化 生 接種後一次のワクチンを接種するまでの間隔は、制限なし。

(R5.4.1現在)

【予診票の配布方法】

・ ロタウイルス感染症、ヒブ (Hib)、小児肺炎球菌、B型肝炎、 四種混合(ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ)	→ 出生月翌月末に郵送
・ BCG	→ 乳児健診時に手渡し
・ MR(麻しん風しん混合)第1期、水痘	→ 10か月児健診時に手渡し
・ 日本脳炎第1期	→ 3歳児健診の案内と一緒に郵送
・ MR(麻しん風しん混合)第2期	→ 接種対象時期に個別で郵送
・ 日本脳炎第2期	→ 接種対象時期に個別で郵送
・ 二種混合(ジフテリア・破傷風)	→ 接種対象時期に個別で郵送
・ ヒトパピローマウイルス感染症	→ 接種対象時期に個別で郵送



【ヒブ (Hib) 予防接種の受け方(接種スケジュール)】

初回接種開始時期	接種間隔	接種回数
生後2か月～7か月未満	初回：27日以上の間隔 (標準的には56日まで)	初回3回(※1)、追加1回
生後7か月～1歳未満	追加：初回接種終了後7か月以上の 間隔(標準的には13か月まで)	初回2回(※1)、追加1回
1歳～5歳未満		1回

(※1) 初回接種が終了しないまま生後12か月を超えた場合は初回接種を行わない。
その場合は、初回接種終了日より27日以上おいて追加接種を行う。

【小児肺炎球菌予防接種の受け方(接種スケジュール)】

初回接種開始時期	接種間隔	接種回数
生後2か月～7か月未満	初回：27日以上の間隔	初回3回(※2)、追加1回(※4)
生後7か月～1歳未満	追加：初回接種終了後60日以上の間隔	初回2回(※3)、追加1回(※4)
1歳～2歳未満	60日以上の間隔	初回1回、追加1回
2歳～5歳未満		1回

(※2) 生後24か月未満(標準的には生後12か月まで)に接種する。
ただし、初回2回目の接種が生後12か月を超えた場合は3回目は接種しない。
(※3) 生後24か月未満(標準的には生後12か月まで)に接種する。
(※4) 生後12か月以降に接種する。

【ヒトパピローマウイルス感染症予防接種の受け方】 3種類のワクチンから1種類を選択して接種します

ワクチン名	接種方法
サーバリックス	2回目は1回目接種後1か月以上おいて接種、3回目は1回目接種後5か月以上かつ2回目接種後2か月半以上おいて接種 (標準的には、2回目は1回目接種1か月後、3回目は1回目接種6か月後)
ガーダシル	2回目は1回目接種後1か月以上おいて接種、3回目は2回目接種後3か月以上おいて接種 (標準的には、2回目は1回目接種2か月後、3回目は1回目接種6か月後)
シルガード9	【1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合】2回目は1回目から5か月以上おいて接種(標準的には、1回目接種後6か月) 1回目と2回目が5か月未満の場合は、3回目の接種が必要 【1回目の接種を15歳になってから受ける場合】2回目は1回目接種後1か月以上おいて接種 3回目は2回目接種後3か月以上おいて接種(標準的には、2回目は1回目接種2か月後、3回目は1回目接種6か月後)

※同じ種類のヒトパピローマウイルスワクチンで接種を完了することが原則ですが、医師と保護者または被接種者がよく相談した上で、
前回接種したワクチンと異なるワクチンを選択することもできます。

問い合わせ先

養老町保健センター

TEL 32-9025